

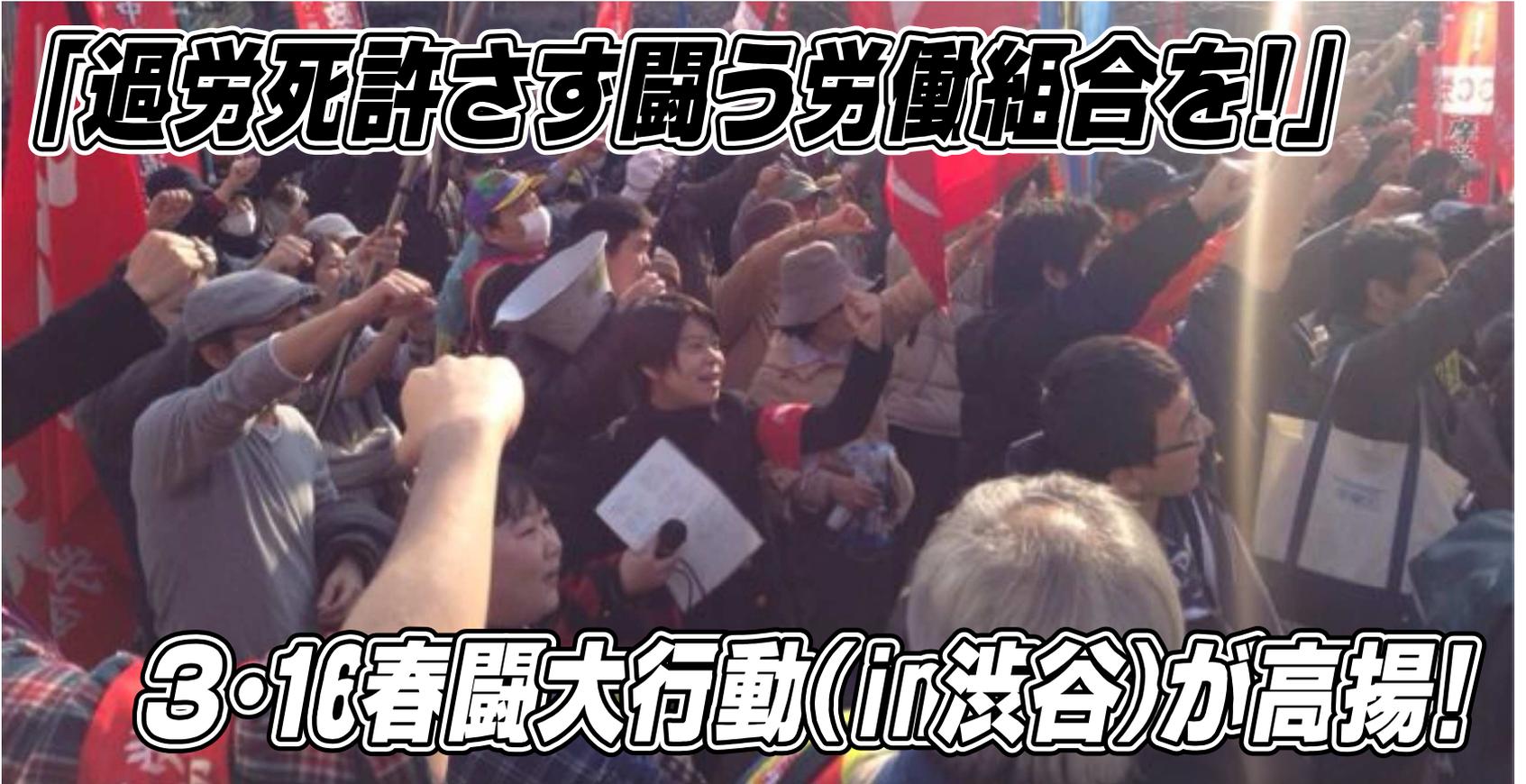
# 4・25法大闘争へ!

2014年3月17日  
No.175

Tel 03-3651-4861  
mail\_cn001@zengakuren.jp  
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

## 「過労死許さず闘う労働組合を!!」



## 3・16春闘大行動(in渋谷)が高揚!

### <鈴木たつお弁護士の発言>

「労働運動の復権こそが、安倍の『改憲と戦争』の政治を打ち倒すことができる!」と東京都知事選で真っ向から訴えて、首都の労働者の胸に確実に届いたと私は実感しています。「過労死と貧困」、安倍はその状況を戦争に使うとしている。そのような意味で、都知事選は「春闘の前段」だった。いよいよ、これから本番が始まります。

春闘の課題は二つある。一つは、ウクライナ情勢も含めて、いま世界は異様な緊張状況、戦争情勢にあります。顕著なのは、アメリカ帝国主義の没落です。その中で一

気に、安倍は対米対抗性を強めて「改憲と戦争」に走ろうとしている。しかし、「アベノミクス」なるものが誰の目から見ても崩壊を開始している。それをごまかしているのが、あの「官製春闘」です。マスコミすら「官製春闘」と揶揄している。やれ「ベアだ」と騒いでいますが、実際には「復興法人

税」の前倒し、さらに、円安を利用して大もうけしている一部の自動車・電気などの大企業が正社員へのほんの一部への「おこぼれ」として与えているにすぎない。そんなものは、4月からの消費増税に飲み込まれてしまう。特に、2000万人を超えた圧倒的な非正規労働者、そして実際には非正規とほとんど同じ労働条件に叩き込まれている正規労働者に対して、資本家たちは何をするつもりなのか?

ますますとんでもない地獄を強制しようとしている。その象徴が、今国会に出されている「労働者派遣法の改悪」です。正社員もたちまち非正規に叩き落とすことができる。



# 3・14「8周年」法大デモ貫徹！ 門前で吼える武田君！



非正規労働者は一生そのまま、職場を転々としながら生きていくしかない。利益のためには、労働者をモノのようにしか扱わない。そういう資本家に対して、春闘の課題は、職場で徹底的に闘うことだと思います。

いま一つの課題は、安倍の「改憲と戦争」に向かう政治に、労働者・労働組合が正面課題として立ち向かい、吹き飛ばすことです。今、戦後世界のあり方は崩壊している。その中で安倍は一気に、日本の保守政治の原理であった吉田茂以来の「対米協調」を振り捨て、アジアに対する再びの侵略に踏み込まないと生き残れないという日米帝国主義の利益衝突の厳しさ、何より労働者人民の怒りが充満している中で、戦争政治にしゃにむに走っている。

しかし、安倍の戦争政治の実体は何か？ 支配階級同士の合意もとりつけられない。ただ、自己的人脈であちらこちらの行政・政治支配の中枢を押さえているにすぎない。いま目の前にあるNHKが典型だ。マスコミを押さえ、司法界すら押さえようとしている。安倍の戦争政治は、このような自らの人脈でしか支配体制をつくれぬ。こんな脆く倒しやすいものはない。アベノミクスはボロボロで、私たちがこの前に立ちふさがっている。安倍を倒すことはできる。この確信にわれわれは立とう！

中曽根元首相は、労働運動をつぶして、国鉄分割・民営化を強行し、「新しい憲法を床の間に飾る」と言った。しかし、新憲法がいま床の間に飾られているのか？ そんなことはない。動労千葉を先頭とする階級的労働運動、国鉄闘争全国運動の力が、既成の労働運動幹部は「2010年4・9政治和解」で全部屈したけれども、私たちがこの力で立ちふさがっている。国際連帯、ドイツで韓国でアメリ

カで、労働者は立ち上がっている。これが安倍を倒す力の源泉だ。そこに私たちは確信をもって、「労働者の力こそが安倍を倒す、戦争を阻止することはできる」と職場の仲間にも訴えようじゃないか。それが最高裁への国鉄10万人署名運動であり、6月8日の国鉄全国集会であり、8月の改憲阻止・国鉄闘争勝利の大闘争です。8月までで階級闘争も一変する、世界情勢も一変する。

私たちは都知事選で挑戦したように、1000万人民と結合し、現代革命を成し遂げる。その決意と飛躍をかけて、闘いに立ち上がろう。本日の春闘大行動はその出発点です。私のアピールは以上です。よろしく！



齋藤委員長も「暴処法無罪確定」を報告して決意表明！



3・15「さようなら原発集会」(日比谷野音)に5500人が大結集!

## 【当面する行動方針】

●3・23三里塚全国総決起集会 控訴審勝利！ 市東さんの農地を守ろう！

3月23日(日) 13時～ 東京・芝公園23号地にて <主催：三里塚芝山連合空港反対同盟>